



テクニカル・メッセージ

冬季使用燃料に対するお願い

軽油は凍結温度の違いで、JIS規格で定められた特1号から特3号までの計5種類あります。外気温に適さない軽油を使用している状態で、冬季の山間地や寒冷地に向かった場合、燃料が凍結し、エンジンの出力不足やエンジンの始動に影響を及ぼす可能性があります。このため、冬季は外気温に適した燃料の使用をお願いいたします。



1. 対象車両

日野トラック・バス ディーゼルエンジン搭載車

2. 軽油の種類および凍結温度

燃料	凍結温度の目安
JIS 特 1 号軽油	+ 5℃以下
JIS 1 号軽油	-2.5℃以下
JIS 2 号軽油	-7.5℃以下
JIS 3 号軽油	-20℃以下
JIS 特 3 号軽油	-30℃以下

3. 給油の際の注意点

- ◆ 一般地から山間地や寒冷地へ行く場合、出来るだけ早い段階で現地のガソリンスタンドにて給油していただき、燃料タンク内の燃料を3号または特3号軽油に変えるようにしてください。
- ◆ 燃料タンク内に特1号・1号・2号軽油が多く残っている状態で、3号・特3号軽油を給油しても上記表の目安温度より高い温度で凍結に至る事があります。
- ◆ フェリー等を使用して寒冷地に行く場合も、乗船前に燃料残量を最低限に調整していただき現地到着後に3号または特3号軽油を給油してください。
- ◆ 燃料給油の際は、燃料タンクの給油口からゴミや水が入らない様にご注意ください。また、燃料タンクのキャップは規定の位置まで確実に締めてください。

日野自動車